

事業評価シート

番号 0760070 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市中央卸売市場市場協会(清掃事業)負担金				
担当部名	経済部	担当課名	中央卸売市場		
未来地図政策	農林水産業の活性化			政策コード	3 - 3 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市中央卸売市場協会
実施期間	昭和46 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市中央卸売市場協会規約	

【2.事業概要】

事業の目的	中央卸売市場の円滑な運営と総合的発展を期するため、岐阜市と場内業者が一体となって事業の推進を図ることを目的とする。				
事業の内容	(1)市場の防火・防犯に関する事項 (4)会員相互の厚生・親睦に関する事項 (2)市場の衛生・清掃に関する事項 (5)その他目的達成に必要な事項 (3)市場の交通に関する事項				
事業の 対象	何を	岐阜市中央卸売市場協会負担金			
	誰に (対象者・対 象者数)	岐阜市中央卸売市場協会			
	どのくらい (具体的 数値で)	衛生費の2/3以内			
令和2年度 (実施内容)	開場日の場内側溝・マンホール清掃及び廃棄物等処理、野良鳩飛来防止、場内一斉清掃等を実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		43,388	83,928	86,405
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	負担金	22,395	51,290	45,790
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		43,388	83,928	86,405

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	43,388	83,928	86,405

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	20,993	32,638	40,615
計(F)	20,993	32,638	40,615

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	22,395	51,290	45,790

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	開設者及び場内業者	開設者及び場内業者	開設者及び場内業者
受益者数	111	111	104
受益者負担額(千円)	26,784	61,187	53,879
受益者負担率(%)	61.7%	72.9%	62.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	201,757	462,072	440,288

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	衛生費(委託)	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			9
実績値			9

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	不適正なごみの排出	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			0
実績値			0
達成状況			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市場内の環境衛生活動に開設者と業者(場内業者及び市場関係者)が連携して場内環境の保全に取り組むことにより、安全で安心な生鮮食料品を提供している。 市場協会は、開設者と業者(場内業者及び市場関係者)で構成する任意団体であり、場内美化や衛生管理等に関する事業を実施するのが目的であることから、市の関与は妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市場の防犯・衛生・交通について役割を担っており、市場の円滑な運営に貢献している。 開設者と業者(場内業者及び市場関係者)が負担金を出しあい、場内美化や衛生管理等に関する事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	開設者と業者(場内業者及び市場関係者)が連携して場内環境の保全に取り組むことで効果を高めている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	令和元年度から衛生費に係る費用が大幅に増加したが、その事業に必要な収支予算を立て、目的に沿った事業配分を行っている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	食の安全、安心志向に対して、開設者と業者(場内業者及び市場関係者)が連携して場内環境の保全に取り組むことで、当該協会の活動を推進していく。

事業評価シート

番号 0760070 - 002

【1.基本情報】

事業名	全国中央卸売市場協会年会費				
担当部名	経済部	担当課名	中央卸売市場		
未来地図政策	農林水産業の活性化			政策コード	3 - 3 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	全国中央卸売市場協会
実施期間	昭和53 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	全国中央卸売市場協会会則	

【2.事業概要】

事業の目的	生鮮食料品の卸売の中核的拠点である中央卸売市場の機能を充実し、円滑な流通を確保する。				
事業の内容	中央卸売市場の業務に携わる者の研修、生鮮食料品流通に関する各種調査、研究、情報の収集、伝達及び関係機関に関する各種の要請等。				
事業の対象	何を	全国中央卸売市場協会年会費			
	誰に (対象者・対象者数)	全国中央卸売市場協会			
	どのくらい (具体的数値で)	110,000円			
令和2年度 (実施内容)	全国中央卸売市場協会概要の発行、検査担当職員等研修会・業務担当職員等研修会の実施、功労者に対する表彰を実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		4,584	4,472	2,897
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	市負担金	110	110	110
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		4,584	4,472	2,897

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	4,584	4,472	2,897

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	4,474	4,362	2,787
計(F)	4,474	4,362	2,787

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	110	110	110

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	全国中央卸売市場の開設者	全国中央卸売市場の開設者	全国中央卸売市場の開設者
受益者数	40	40	40
受益者負担額(千円)	4,760	4,760	4,760
受益者負担率(%)	103.8%	106.4%	164.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,750	2,750	2,750

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	全国中央卸売市場協会の会員数	単位	者
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	40	40	40
実績値	40	40	40

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名		単位	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			
実績値			
達成状況			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生鮮食料品の卸売の中核的拠点である中央卸売市場の機能を充実し、円滑な流通を確保する。市民生活の安定に寄与するうえで必要である。 関係団体の年会費である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	全国の中央卸売市場が入会しており、市場間の連携を図る役目は大きい。 関係団体の年会費である。 政令市等 13万円 その他都市 11万円
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	中央卸売市場の業務に携わる者の研修、生鮮食料品流通に関する各種の調査、研究、情報の収集、伝達及び関係機関に関する各種の要請等を実施している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	関係団体の年会費であるため、岐阜市単独の判断による年会費の減額や撤退は困難である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	当協会から提供される情報等は、市場にとって非常に有意義で必要不可欠であるため、引き続き会員として会費を負担することで当該協会の活動を推進していく。